

1

(30点)

直線 $y = px + q$ が、 $y = x^2 - x$ のグラフとは交わるが、 $y = |x| + |x - 1| + 1$ のグラフとは交わらないような (p, q) の範囲を図示し、その面積を求めよ。

まず $y = px + q$ と $y = x^2 - x$ のグラフが交わるのだから

$$px + q = x^2 - x$$

$$x^2 - (p+1)x - q = 0$$

$$\text{判別式} \geq 0 \text{ より}$$

この2次方程式の解が実数解になる必要がある。

$$\{-(p+1)\}^2 - 4 \times 1 \times (-q) \geq 0$$

$$(p+1)^2 + 4q \geq 0$$

$$\therefore q \geq -\frac{1}{4}(p+1)^2 \text{ ----- ①}$$

2次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ ($a \neq 0$)

の判別式は $D = b^2 - 4ac$

$D > 0 \iff$ 異なる2つの実数解

$D = 0 \iff$ 重解

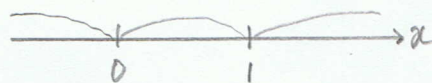
$D < 0 \iff$ 異なる2つの虚数解

次に $y = px + q$ と $y = |x| + |x-1| + 1$ のグラフが交わらないのだから

$y = |x| + |x-1| + 1$ のグラフをかいて、交わらない条件をさがしてみる。

$$|x| = \begin{cases} x & (x \geq 0) \\ -x & (x < 0) \end{cases}$$

$$|x-1| = \begin{cases} x-1 & (x \geq 1) \\ -(x-1) & (x < 1) \end{cases}$$



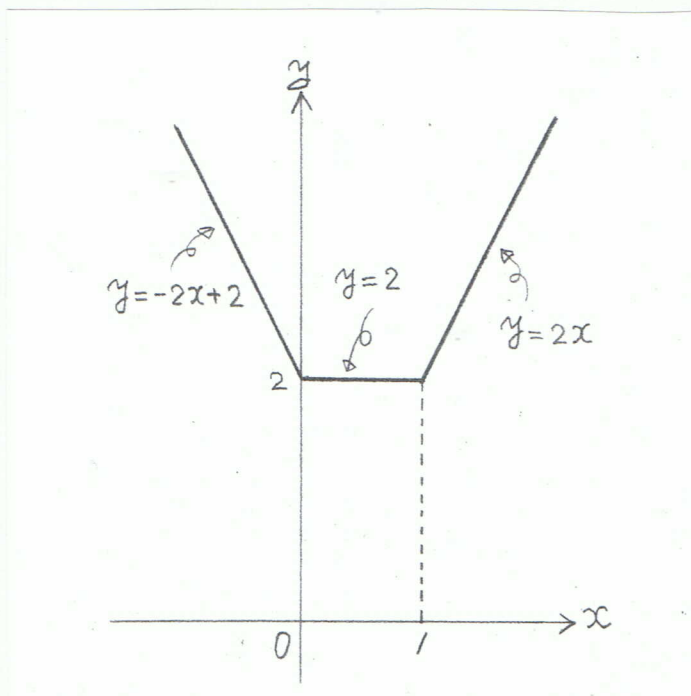
だから

$$x < 0 \text{ のとき } y = -x - (x-1) + 1 = -2x + 2$$

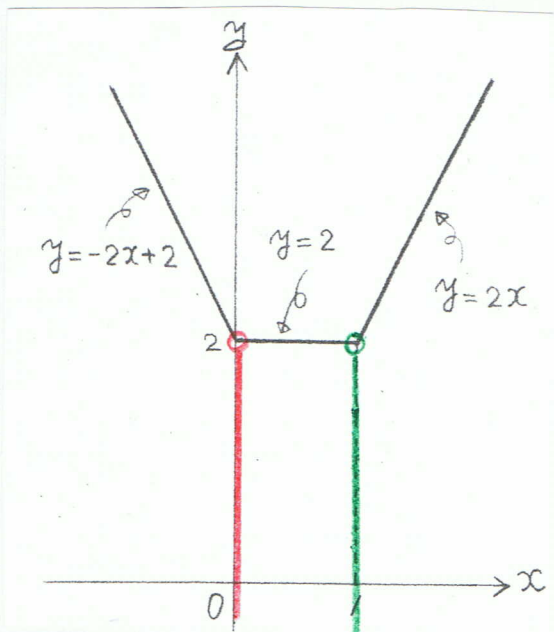
$$0 \leq x < 1 \text{ のとき } y = x - (x-1) + 1 = 2$$

$$1 \leq x \text{ のとき } y = x + x - 1 + 1 = 2x$$

すると $y = |x| + |x-1| + 1$ のグラフは次のようになる。



ここで $f(x) = px + q$ において、交わらないときの p, q の条件をさがしてみる。



直線 $f(x)$ が 3本の直線 (正確には半直線, 線分)

- $$\begin{cases} \text{(i)} & y = 2x \quad (\text{傾き} > 0) \\ \text{(ii)} & y = 2 \quad (\text{傾き} = 0) \\ \text{(iii)} & y = -2x + 2 \quad (\text{傾き} < 0) \end{cases}$$

と交わらないようにするのだから、1本ずつ考える。

(i) 直線 $f(x)$ の傾き > 0 で、半直線 $y = 2x$ と交わらない。
 $f(1) < 2$ であり、かつ $0 < p \leq 2$ のとき。

※ $f(1) > 2$ であり、かつ $2 \leq p$ のときも半直線 $y = 2x$ と交わらないが、線分 $y = 2$ と交わってしまう。

(ii) 直線 $f(x)$ の傾き $= 0$ で、線分 $y = 2$ と交わらない。

$f(1) < 2$ であり、かつ $p = 0$ のとき。

(または 次の条件でも良い。)

$f(0) < 2$ であり、かつ $p = 0$ のとき。

(iii) 直線 $f(x)$ の傾き < 0 で、半直線 $y = -2x + 2$ と交わらない。

$f(0) < 2$ であり、かつ $-2 \leq p < 0$ のとき。

※ $f(0) > 2$ であり、かつ $p \leq -2$ のときも半直線 $y = -2x + 2$ と交わらないが、線分 $y = 2$ と交わってしまう。

そこで、(i) と (ii) をまとめてみると、

$$f(1) < 2 \quad \text{かつ} \quad 0 \leq p \leq 2 \quad \text{となり、}$$

ここで $f(1) = p + q < 2$ である。

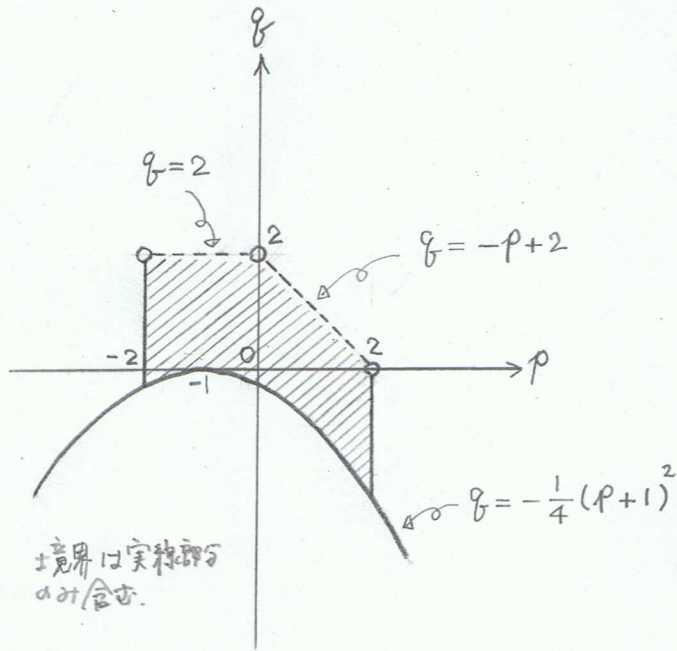
$$0 \leq p \leq 2 \quad \text{かつ} \quad q < -p + 2 \quad \text{----- ②}$$

(iii) より

$$f(0) = q < 2 \quad \text{であるから}$$

$$-2 \leq p < 0 \quad \text{かつ} \quad q < 2 \quad \text{----- ③}$$

したがって 求める (p, q) の範囲は, ①, ②, ③ の全てに含まれる領域であるから, 下図の斜線部となる.



求める面積 S は

$$S = \underbrace{2 \times 2}_{\text{正方形}} + \underbrace{\frac{1}{2} \times 2 \times 2}_{\text{三角形}} + \int_{-2}^2 \left\{ 0 - \left(-\frac{1}{4}(p+1)^2 \right) \right\} dx$$

$$= 6 + \frac{1}{4} \int_{-2}^2 (p^2 + 2p + 1) dx$$

$$= 6 + \frac{1}{4} \times \left[\frac{1}{3} p^3 + p^2 + p \right]_{-2}^2$$

$$= 6 + \frac{1}{4} \times \left\{ \frac{8}{3} + 4 + 2 - \left(-\frac{8}{3} + 4 - 2 \right) \right\}$$

$$= 6 + \frac{1}{4} \times \frac{28}{3}$$

$$= \frac{25}{3}$$